

# 初心者・中級者向けデー 夕解析一斉講習の提案

山中雅之、川端弘治（広島大学）

# IRAF講習会の提案

- ・各大学でなされている（であろう）IRAFを使った解析指導を、IRAF講習会と題して大学間連携で共同で実施しませんか？
- ・対象レベルは初心者・中級者
- ・実施時期は春頃
- ・初心者の定義=院に入って初めてLinuxコマンドに触れ、IRAFを使い始めたばかりの院生を想定（これまで可視データの解析に携わってこなかったが、初めてM2でIRAFを触るといふ人も勿論OK）

# 提案に至った背景=広島での実情

- ・ IRAFを含むデータ解析の指導は各指導教官ないし研究室内年長者先輩に委ねられている
- ・ 最近、困ったことが起きていて、年長者院生に質問が集中。->年長者院生は自らIRAF講習会を立ち上げ一斉指導を実施->本人曰く、「自分の負担を減らすため」
- ・ (教員としては困ったことだが)、**研究時間の確保・負担軽減を目指す**、という意味では同意。
- ・ 最近の研究はスクリプト運用が前提、<-一方で一つ一つコマンドラインが使えない人がいる  
->まずコマンドでいいからバイアスフラット処理して、が通じないケースがある
- ・ 少なくとも、広島では来年度春頃データ解析講習会を実地予定(山中案)

# OISTERでの提案

- ・具体的には、講師が演示的に進める。講師がスライドで実際のIRAF解析を進めながら、コマンドの意味を説明。参加者は追ってコマンドを打って解析を進める。
- ・ルーティンが落ち着く最初の1、2年は受け入れ側の負担が大きいが、連携内機関で一斉に実施することで、継続することで負担の軽減につながるのでは、と考える(ここが重要)

# 自転車である

- ・我々は忘れていたが、初心者にとって、Linux/unix、IRAFは初めて触れる外国語のようなものである。
- ・初めの一步をうまく歩めるか、つまづくか、この違いはその後の院生生活に多大な影響を与える
- ・院生活の第一歩と言えるIRAFを使ったデータリダクションを自らの手でできるようになることで、その後の研究生生活をスムーズに送ってもらう

# 多方面からの意見

・そもそも各々の望遠鏡・装置で取得されるデータは一次解析手法も異なる。完全な初心者レベルの学生に連携の場を使う意味はあるのか？

-> 一度一つのデータについて首尾一貫した解析を経験することで、UNIXコマンドに対するハードルを下げられることが期待される。結果的に、他観測所のデータ解析に対しても同様の効果を期待。

・IRAFを使うのか？例えば扱いやすいpythonスクリプト作成を念頭においてpyrafを使うのは？

-> どちらでも良い。ただし、コマンドは演示的に示して、初めからスクリプト作成を前提とした講習にはしない。

# 中級者向けは？

- ・意見お待ちしております。